

高齢者に対する胃 ESD の安全性と、 eCureC-2 症例における追加治療に関する検討

情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センターでは、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

研究目的

高齢者は複数の併存疾患を持ち抗血栓薬を内服していることも多い。高齢者の早期胃癌患者に対し ESD を施行する機会は今後も増加すると思われ、高齢者における ESD の安全性を評価する必要がある。さらに非治癒切除であったとしても一定の割合で他病死することがあるため、eCuraC-2 症例における追加治療についても検討する必要がある。高齢者における胃 ESD 安全性が確認できれば今後の診療において有意義である

研究期間

2024 年 3 月 1 日から 2027 年 2 月 28 日（3 年間）の予定

研究の対象となる方

2016 年 1 月から 2024 年 3 月の間に当院で早期胃癌または胃腺腫（胃管病変、分割症例、神経内分泌細胞癌を除く）に対して ESD を施行した患者

研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したデータを使用します。このデータをもとに、高齢者における胃 ESD 安全性及び eCureC-2 症例における追加治療に関して統計学的に調査します

使用する情報および個人情報の保護

患者さん個人番号（ID）と氏名が含まれていない状態で、電子カルテからデータを抽出

します。また研究用パソコンは、インターネットにつながません。論文化から 10 年程度データを保存しますが、その後に適切にデータを破棄します。

研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されません。

研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

研究責任者

荻野 真也 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 医師

共同研究者

岩上 裕吉 消化器内科 副部長

中谷 泰樹 消化器内科 部長

お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話 073-422-4171 (代表電話)

所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20